

### 第3回七飯町地域公共交通活性化協議会 概要

- 1 日時 令和3年7月1日(木) 10時00分～11時30分
- 2 場所 七飯町文化センター スペース201大会議室(七飯町本町6丁目1番2号)
- 3 出席者 委員総数16名の内15名出席(内2名代理出席)、1名欠席  
 随行者3名、報道2社、事務局3名  
 日本データサービス株式会社(委託事業者)2名(計画調査部 東本部長、中野主任技師)

#### 4 議事

- (1) 令和2年度七飯町地域公共交通活性化協議会収支決算報告及び監査報告について
- (2) 令和3年度七飯町地域公共交通活性化協議会補正予算案について
- (3) 七飯町における公共交通関連の現況整理及び各種調査計画(案)について
- (4) その他

#### 5 内容

区分	内容
1 開会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席委員報告</li> <li>・新任委員及び本協議会と委託契約を締結した日本データサービス株式会社担当者2名(計画調査部 東本部長、中野主任技師)紹介</li> <li>・会長挨拶</li> </ul>
2 議事	<p>※議事進行は、七飯町地域公共交通活性化協議会規約に基づき、会長である七飯町副町長が行う。</p> <p>(1) 令和2年度七飯町地域公共交通活性化協議会収支決算報告及び監査報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2-1により事務局から説明</li> <li>・資料2-2により監査委員から監査報告</li> </ul> <p>→質疑等無く承認</p> <p>(2) 令和3年度七飯町地域公共交通活性化協議会補正予算案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3-1, 3-2, 3-3により事務局から説明</li> </ul> <p>→次のとおり質疑等有</p> <p><b>【委員】</b>          資料3-2について、5ページの歳出の会議費で委員の報酬、費用弁償は14名で計算しているが、委員総数は16名となっており、副町長は報酬等を受け取らないということで、あともう1人は誰のことか?</p> <p><b>【事務局】</b>          報酬等を辞退した委員がいたため14名とした。</p> <p>→その他質疑等無く承認</p> <p>(3) 七飯町における公共交通関連の現況整理及び各種調査計画(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4、アンケート調査票(案)により事務局及び日本データサービス株式会社担当者から説明</li> </ul> <p>→次のとおり質疑等有</p>

**【委員】**

資料4について、このNo.2のところに出てくる「1七飯町における地域公共交通の現状」ってありますけど、このデータを見ると高齢化の状況ばかり出してきているということは、この事業はつまり七飯町さんの場合は、高齢者対策ということに対する地域公共交通を利用しようということなのか、まず1点、それからですね、No.6の函館バスさん、中央バスさんとか、JR北海道、大沼交通さんとありますが、ハイヤーさん抜いているということでしたけど、うちの業界で函館バスさんが夜間の運休を始めてから夜間の乗合タクシーというのをやってますよね、それは地域公共交通として扱っていないのかというその点についてお伺いしたいと思います。それから、次のページの上の方の全体の7割の人が地域公共交通を利用する環境にある、一方では藤城峠下地域では半分以上の町民が公共交通を利用しにくい環境にあるという、これは何をもとにした扱いで言っているのか、教えていただきたい。次のページが、公共交通の現状ということで上から3つ目くらいまでは、確かに公共交通の関係だとわかるけど、スクールバス以降の一番最後までは公共交通と連動しないと思いますが、わざわざこれを載せたってことはどういう意味合いがあるのか、わからないので教えていただきたい。それから次のページの上から6行、7行目に大沼地域と書いて、大沼地域の現状、函館バス、大沼交通などの民間路線バスが幹線のみ運行しと言っているけど、これは大沼交通さんの場合は、空港までの各地域のやっているというのはわかりますが、函館バスさんの方も幹線のみなのかなと、私の記憶ではちょっと違うのではないかなと、なのでそここのところ教えていただきたい。それからNo.12、これはあくまでも今更ヒアリングする必要があるのか、ここら辺のデータって役場さんで抑えているのではないかなと思いますので、それを今更、ヒアリングする意味はあるのか、ご説明お願いしたいと思います。それからアンケートについてですが、1ページ目の問6、外出支援サービスを利用するという書き方していますが、具体的に何を指しているのか教えてください。次のページの問9のところにありますけど、買い物に行く際の交通手段について、「6介助つき送迎サービス（福祉タクシーなど）」と書いていますが、介助つきということは介護保険の介助つきのことを言っているのか、ただそれ以外の部分のことなのか、それから、問13のお住まいの地域の現在のバスサービス水準ときて、その下のところに、現在のバスサービス水準は約1時間に4.4便、国道5号線を中心に運行、その次に始発6時台、終発21時台、この3つの理由でバスサービス水準を決めるということでもいいですか、それから、問14の公共交通にまとめるサービスが改善した場合、これはどういうことを書くかわかりづらいと思うので、何を言いたいのかというのを教えていただきたい。以上です。

**【事務局】**

高齢者対策として進めていくのかというご質問かと思いますが、確かに高齢化率を載せて、どんどん高齢化率が上がっていくというご説明させていただいておりますので、高齢化対策のように見えるかもしれません。また、アンケートを取っても

高齢者の方が通院だとか、買い物に不安という方が多いです。ただ、高齢者のみを対象にしたものと考えていこうとは今のところ思ってませんで、高齢者のみを対象としては、利用者になるべく裾野が広くて、たくさんの方が利用できるものでなければ、持続可能な公共交通の手段としてはなかなか得ないのではないかと思いますので、資料からそういう風に見えてしまったのは大変申し訳ございませんでしたが、高齢者だけを対象としたものを目指そうと考えているわけではございませんので、ご理解いただきたいと思います。次に夜間乗合タクシーの件ですが、すみません、最初に聞いていただいたと思いますが、タクシー、ハイヤーさんを除いて、申し上げたところです。

**【委員】**

それについては、函館運輸支局から聞いた方がいいと思う。

**【委員】**

深夜乗合タクシーということで、乗合なので、乗合事業の方に該当するということを伝えたいのでは。

**【事務局】**

夜間ということですが、最初乗合タクシー、バスと同じ扱いになりますよね。

**【委員】**

ただ一方で、桔梗ハイヤーさんがやっている深夜乗合タクシーになると、函館から七飯に行くという運行でございますので、七飯町内での乗り降りというのができない形になっておりますので、そういった意味ではというところもあると思います。私が資料作ったわけではないので。

**【事務局】**

今の部分につきまして、私ども、乗合タクシーの部分については、あくまで運輸支局様と、調整させていただきながら作成させていただいたものですから、その部分確認しまして、公共交通として整理するべきものであれば、整理してまいりたいと思いますし、そのような形にさせていただきたいと思いますので、よろしく願いします。

**【事務局】**

申し訳ございません。その次について、藤城峠下が使いづらいと書いているというところなんですけど、単純にこの分析から、駅、バス停の勢力圏に入っている人口が他の地区に比べて少ないということをもって、そのような言い方をしているものでございます。ほかの地区に比べて、公共交通勢力圏の設定、こちらの方で、設定した範囲ですけれども、そこでカバーされる人口が他の地区に比べて少ないので、そのような言い方をしているものでございます。次に8ページのスクールバスから下のものについて、確かに、中には公共交通と連携しづらいというのがあるのは確かですけれども、これから公共交通は既存の事業者さんのやっているものだけでなく、スクールバスなんかも含めて、七飯町が今持っている資源で、活用できるものは活用して、繋げて一体の公共交通として運行していくべきなのではという

考え方、少しでも移動支援だとかで町で負担しているものがあれば、こういうものがあるということで、網羅的に、頭出しということで、載せさせていただいております。実際、これから議論していく中で、例えば、スクールバスで生徒以外の方も乗せられるとか、その下の福祉施策の中でも、使用者の方がいらっしゃいますので、利用者の方の使い方を分析して、新しい公共交通のあり方に繋げていけるのではないかとこのところで、載せさせていただいているところがございます。大沼の函館バスなどの民間のバス路線、幹線のみを中心に運行されておりというところで、確かに幹線のみを中心にということで、完全に幹線のみと認識しているわけではないですが、運行している本数の中で、確かに、道道大沼鹿部線だとか、公園からこちらの方に来る道路だとか、幹線を中心に運行しているものが非常に多いものですから、このように載せさせていただいているものでございます。

**【委託事業者】**

ヒアリング調査につきまして、基本的にデータの把握がありますが、それで特に把握したい内容というところが、スクールバスですと、活用ができるかというところですか、町内の交通事業者の方につきましては、今後新しい公共交通を運行するということがあった場合に、担い手として、なっただけかどうか、運転手とか車両ですとか状況があると思いますので、そういった部分も含めてヒアリングさせていただきたいと考えています。続いて、アンケート調査票についてのご質問について、問6の部分で、外出支援サービスとはどのようなものというところで、現況整理資料の方の各種福祉サービスとか、福祉有償運送というところを想定して記載しております。若干表記が、わかりにくいというのがあると思いますので、事務局と検討して、少し表記を変えるといったところを考えさせていただきたいと思っております。問9、問10、問11と関連しておりますけれども、買い物などの際の交通手段というところで、介助つき送迎サービスというところがございます。福祉タクシーなどを書いてございますけれども、福祉有償運送などを含めたもの、一般的に介助がついているものとして、乗り降りの際に支援してもらえるような交通というところをイメージして記載しております。問13のサービス水準のお示しする理由でございますが、現在、あなたのお住いの地区というのは、例えば、1時間に約4.4便走っておりますけれども、例えばこれに対して、公共交通に対し、便数を増やしてほしい、始発も今6時、終発21時となっておりますが、始発をもっと早くしてほしいですか、終発をもっと遅くしてほしいとか、その回答への手助けといえますか、1つの基準となるように簡単に概要的に現在のバスサービス水準についてお示ししている部分となっております。問14について、利用頻度というところがわかりにくい、さらに設問の部分もさらにわかりにくいと感じましたので、例えば、公共交通のサービスが改善した場合に、外出機会が増えるかという、もう少しシンプルな設問形態にしたいと考え、検討させていただきます。

**【委員】**

先にアンケートのところで、バスサービス水準と出てるけど、今の話聞いている

と、運行サービスとか運行状況とかという内容だよ、だから、函館バスさんのサービスが悪いのかなというものの捉え方されるような文言はやめてもらいたいなと思います。その辺よろしくお願いします。福祉の送迎というのはたくさんありますので、それを1つの括りの中に入れるというのは、うちの業界もユニバーサルデザインタクシーという、車いす対応のものもあるんですよ、そういうのがあるから、タクシーさんはそういうのがないのではないかと見える、そのところをもう少し、検討して、丁寧にさせていただきたい。先ほどの資料4の高齢者に特化したということであれば、公共交通として成り立たないというのがあるので、もう少しこういうシステムを入れるのであれば、やはり、小さい子供から、お年寄りまでが使いやすく、そうすれば、人の流れも良くなるだろうし、病院だとか、銀行だとか、温泉だとかに行けて便利だということ、やっぱりそういうものが見えてこない資料で、やっぱりそういうものが見えてくる資料を作っていただかないと、この協議会の議論が空論になる気がする。そういうところを考えていただきたいなと思います。公共交通というのは、値段が高いというように捉えているかもしれないですけど、そこには維持費とか、タクシーでいうならば、2種の免許を持ってないといけないとか、それから保険とか、そういうのが全部考慮されて、こういう値段になっている、函館バスさんもそうですし、JRさんもそうですし、決まっているから、そういうお仕事されている人たちのことを考えて、丁寧に説明していくというところがなければ、今やっている人たちは高いからダメという捉え方されてしまう、確かに業者がそういうところを説明していないということもあるけど、せっかくの機会ですから、明確に示していただきたいなと、最後をお願いということで、ありがとうございました。

**【委託事業者】**

貴重なご意見ありがとうございます。アンケート調査票の交通手段の部分につきましては、函館バスさん、ハイヤー会社さん含め、配慮させていただきまして、文言などもう少し検討させていただきたいなと思います。

**【議長】**

委員の皆様にご理解いただきたいのは、私ども今の町の現実問題としての現況としての捉えの資料を前提としてございます。これからアンケート調査などをやっていくことによって、きちんとした細かな部分を協議しながら、積み上げていくことになろうかと思っておりますので、その部分については、ご理解をいただきたいなと思います。今は町の悪い現状を正直に出しているところで、ご理解をいただき、これから、積み上げていきますので、その辺ご理解をいただきたいなと思います。

**【委員】**

大沼地区のことに、これ書いていますけど、沼っ子お出かけ号ですね、利用者が限定されているとか、利用者ニーズに応じた沼っ子お出かけ号の運行日見直しですとか、あくまで、これは大沼交通さんが地元の老人とかが不便に感じているということで、自発的に確か大沼交通さんでやっていますから、この文章見れば、

これどこかで沼っ子お出かけ号頼んで、大沼で動かしていると感じますので、あくまで、地元の方のために、しょうがなくというか、ボランティア活動として、やっているのが現状です。

**【事務局】**

ありがとうございます。確かに沼っ子お出かけ号は、大沼交通さんがボランティアポイントの利用のみで自主的に運行いただいているものでございますので、また、ヒアリングなどをして、利用者については、何人くらい利用していて、週に2回くらい運行しているというところはわかりますので、なるべく、ずっとボランティアでやっていただけていますが、これからは、公共交通の1つとして組み入れていけるものであれば、ここから協議していき、また、別の形で運行していただくという場合もあるかもしれませんけれども、現状、確かに自主的にボランティアポイントのみで運行していただいているというのは確かですので、資料の作りで誤解があったようであれば、申し訳ございませんでした。

**【委員】**

すみませんけれども、1つ教えていただきたいのですが、各設問に対しまして、外出頻度という言葉がありますが、この頻度の回答欄を見ると、ほぼ毎日、週2日、週1回と、頻度というのは回数であって、日よりは回数のほうがいいのではないかなと思うのですが、いかがなものでしょうか。

**【委託事業者】**

ご意見ありがとうございます。なるべく回答のお手間を省くために、選択肢として、ほぼ毎日ですとか、こちらの区切りの決めていただいておりますけれども、頻度の部分を回数に変えるとか、もう少し設問とリンクしたような形で、問の設問文を変更かけていきたいと思えます。

**【委員】**

変更するのでしょうか？

**【委託事業者】**

頻度という部分で、わかりにくい部分がありましたので、回数ですとか、行く回数ですとか、もう少しリンクするように、設問をわかりやすいように変更、検討してまいりたいと思えます。

**【議長】**

議事3についてでございますけれども、それぞれ、いろいろなご意見いただきまして、直すべきところは直していくと、言葉が足りない部分は付け加えるなどやっぺいこうかなと思っておりますが、私からの案でございますけれども、ちょっとアンケート調査などのスケジュールあると思えますので、できるだけ早くですね、色々いただいたご意見で、見直しをさせていただいて、再度、皆さまにお諮りする、再度このような形でアンケートを行いますと集まるのではなくて、郵送でお諮りして、先に進みたいと思えますが、それに対していかがでしょうか、今のままではどのようになるかわからないと思えますので、再度正式なものを郵送ですが、お聞

	<p>きしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか、現況の方や住民ニーズの部分はどのようにさせていただいて、皆様の方に郵送させていただくことで、やっていこうと思います。その中で、大きな間違い等あれば、また、皆様からおっしゃっていただきたいなと思います。直せるものについては、直していく、とにかく、住民ニーズ調査を詰めながら、やっていきたい、できるだけ沿ったものを作っていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。そのような形で、ご承認いただいでよろしいでしょうか。</p> <p>(各委員から異議無し等の声)</p> <p>→その他質疑等無く承認</p>
	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・函館運輸支局からダウンサイジング等係る支援策について情報提供</li> </ul>
4 閉会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から次回開催について令和3年9月頃を予定</li> </ul>